

A(\vec{a})を通り、 \vec{n} に垂直な直線

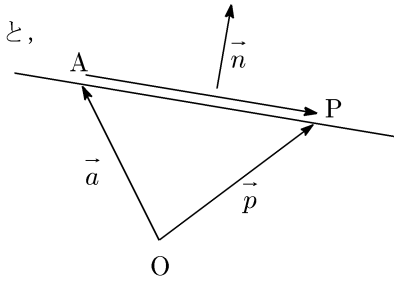
直線を g とする。この直線上の任意の(好きな)点を $P(\vec{p})$ とすると、

$\vec{n} \perp \overrightarrow{AP}$, または $\overrightarrow{AP} = \vec{0}$ であるから, $\vec{n} \cdot \overrightarrow{AP} = 0$

また, $\overrightarrow{AP} =$ _____ だから, 上の式に代入して

$$\vec{n} \cdot \underline{\hspace{2cm}} = 0$$

これが直線 g のベクトル方程式である。



A(\vec{a}) を通り、 \vec{n} に垂直な直線

直線上の点 $P(\vec{p})$ について, $\vec{n} \cdot (\vec{p} - \vec{a}) = 0$

垂直なベクトル \vec{n} を, この直線の _____ という。

点 A の座標を (x_1, y_1) , 点 P の座標を (x, y) とし, $\vec{n} = (a, b)$ とすると, $\vec{p} - \vec{a} = ($ _____ , _____)
 だから, ベクトル方程式に代入して

$$(a, b) \cdot (x - x_1, y - y_1) = 0$$

$$\therefore a(x - x_1) + b(y - y_1) = 0$$

x, y について整理すると

$$ax + by - \underbrace{ax_1 - by_1}_{\text{部は定数}} = 0 \quad (\text{部は定数})$$

よって, $ax + by + c = 0$ と表せる。この式の a, b は, もともとは法線ベクトルの成分であった。つまり

直線 $ax + by + c = 0$ の法線ベクトルは, $\vec{n} = (a, b)$ である。 **重要**

問題1 次の点 A を通り, \vec{n} に垂直な直線の方程式を求めよ。

(吉教科書 p.39 問 11)

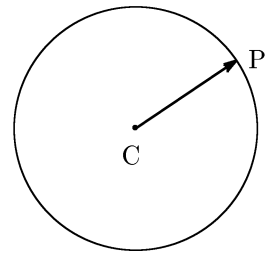
(1) A(3, 4), $\vec{n} = (5, -2)$

(2) A(-3, 0), $\vec{n} = (2, 1)$

円のベクトル方程式

$C(\vec{c})$ を中心とする半径 r の円

円上の任意の点を $P(\vec{p})$ とするとき、円の半径は $CP = |\overrightarrow{CP}| = |\vec{p} - \vec{c}|$
 よって、この円のベクトル方程式は $|\vec{p} - \vec{c}| = r$
 あるいは、この式の両辺を2乗して、 $|\vec{p} - \vec{c}|^2 = r^2$
 すなわち、 $(\vec{p} - \vec{c}) \cdot (\vec{p} - \vec{c}) = r^2$



$C(\vec{c})$ を中心とする半径 r の円

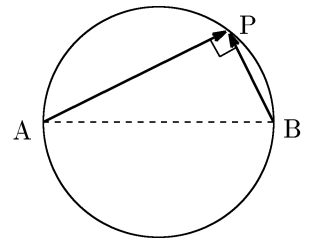
円上の点 $P(\vec{p})$ について、 $|\vec{p} - \vec{c}| = r$
 または、 $(\vec{p} - \vec{c}) \cdot (\vec{p} - \vec{c}) = r^2$

問題2 原点を中心とする半径3の円のベクトル方程式を求めよ。

(吉教科書 p.40 問12)

$A(\vec{a}), B(\vec{b})$ を直径の両端とする円

円上の任意の点 $P(\vec{p})$ について、右図のように、 $\overrightarrow{AP} \perp \overrightarrow{BP}$ (または $\overrightarrow{AP} = \vec{0}$, $\overrightarrow{BP} = \vec{0}$) であるから、
 $\overrightarrow{AP} \cdot \overrightarrow{BP} = (\vec{p} - \vec{a}) \cdot (\vec{p} - \vec{b}) = 0$
 これが求める円のベクトル方程式である。



$A(\vec{a}), B(\vec{b})$ を直径の両端とする円

円上の点 $P(\vec{p})$ について、 $(\vec{p} - \vec{a}) \cdot (\vec{p} - \vec{b}) = 0$

問題3 平面上に基点 O と異なる定点 $A(\vec{a})$ がある。この平面上で、ベクトル方程式 $\vec{p} \cdot \vec{p} - \vec{a} \cdot \vec{p} = 0$ はどんな図形を表すか。

(吉教科書 p.40 問13)